



校長室の窓から

「同級生と同窓生」

本校の校訓は「自彊自律」「和敬禮節」です。昨年の4月にこの南高に赴任して知りました。本校の34回生である私の記憶には全く残っておらず、恥ずかしい思いと情けない思いで一杯になりました。ところが「かしわ橋」のたもとにある校訓碑に「昭和58年4月建立」と書いてあるのです。さらに調べてみると、この校訓は、昭和57年度に制定されたということを知りました。私は昭和57年3月の卒業なので、私が卒業した直後に制定されたということになります。私が高校生の時は、校訓はまだ制定されていなかったのです。少し胸をなで下ろした気分になりました。

生徒の皆さんも知っているとおおり、この校訓には次のような意味があります。

「自彊自律」とは、中国の古典「易経」から執られた言葉で「自ら勤め励んで劣らず、放縦に流れ易い自己を自力で制御すること、すなわち自己に厳しくあれ」という意味で、旧制佐世保中学の標語でもありました。また、「和敬禮節」とは、「親しみの中にも敬い慎み、礼儀をわきまえて自己の心身を正すこと、すなわち広い意味の礼儀を弁（わきま）える」という意味で、旧制県立高等女学校の教育方針の背景をくみとったものです。（「柏葉 佐世保南高校五十年の歩み」より一部引用）

ここ数年、明治維新以来の激動の時代といわれていますが、どんなに時代や場所が変わっても、本校の校訓に込められた想いは、人間社会で生きていく摂理として普遍のものであると思います。南高生の皆さんには、在学中はもちろん、卒業した後も、この「自彊自律」「和敬禮節」の精神を持ち続けて欲しいと思っています。

ところで、明日は卒業式です。73回生226名がこの学舎を巣立っていきます。卒業生の皆さんは、これからの長い人生を送る中で多くの出会いがあることでしょう。でも、「高校2年生の時に一緒に行った修

学旅行は楽しかったね」と思い出話ができるのはこの226名だけです。このことは、1年生も2年生も同じです。縁あっていろいろな中学校出身の人がこの佐世保南高校で出会い、楽しい時間、きつかった時間を共有してきました。このかけがえのない「同級生の仲間」を大切にしてください。

そして、この佐世保南高校を卒業すると同時に、佐世保南高校の「同窓生の仲間」にも入ります。本校の同窓会である「柏葉会」への仲間入りです。本校を卒業すると同時に多くの先輩方と繋がるのです。この佐世保南高校で青春時代を過ごしてこられた先輩方の数は3万1千余名にのぼります。この先輩方は、現在も、この佐世保の地はもとより、全国各地、あるいは海外で多くの方が活躍されています。佐世保で、東京で、大阪で、福岡で、日本各地で、学年を超えた「同窓会」が開かれています。そして、それぞれの地からこの佐世保南高校に思いを寄せていただいています。先日、2月16日には、今年度部活動で実績を挙げた3団体（部）と個人6名に「部活動奨励金」をいただきました。本日は、5団体（部）と個人4名に「東京柏葉会賞」をいただいています。他にも、多くの先輩方が、いろいろな形で本校を愛し、応援し続けていただいています。在校生は、自分たちを愛していただいている、支えていただいている先輩方に感謝の気持ちをもって高校生活を送ってください。そして、卒業したら、この佐世保南高校を愛し、支えて欲しいと思っています。



生徒会常任委員長改選

当たり前にあることに
対して感謝できる
学校にしたい



次期常任委員長 牟田凌華 さん

2月10日（水）に新常任委員長を決める立会演説会及び選挙が行われ、1年生から、小川桃さん、永田惇大くん、牟田凌華さんの3名が立候補しました。立会演説会は校内放送で行われ、それぞれの応援弁士が立候補者の人柄をわかりやすく述べたあと、立候補者がそれぞれ、これからの南高において、「SDGsについて自分たちでもできることに取り組みたい」「目安箱を設置し生徒の意見を反映させたい」「当たり前にあることに対して感謝できる学校にしたい」など自分自身の熱い思いを演説してくれました。3名の真剣でわかりやすい演説によって、大変緊張感のある演説会になりました。そして投票の結果、1年3組 牟田凌華さんが次期常任委員長に選出されました。生徒会は4月に始動します。佐世保南高校生徒会として様々な取り組みを行い、この学校をさらに良いものにしていくよう期待しています。



三密を避けるために今回は選挙公報と立候補者の放送演説という形で立会演説会が開催された。選挙公報には、立候補者の思いが綴られていた。



生徒による投票は、選挙管理委員会の監督下で厳正に行われた。写真（上）は、教室における実際の投票の様子。



より詳しい情報は
左QRコードで本校HPへアクセス

国公立大学前・後期試験に向けて

3年生は、大学入学共通テストを終えて以降、約1か月間の特別編成授業期間に入っています。特別編成授業では、生徒一人ひとりがクラスの枠を越え、それぞれの進路希望や受験科目に応じた講座を受講します。既に1月末から専門学校や私立大学の受験が始まっており、国公立大学志望者も2月25日の前期試験を受験したところです。この後も卒業式や後期試験が控えており、しばらくは気が休まらない日々が続きますが、健康管理に気をつけ、高校最後の1か月を全力で駆け抜けてくれることを願っています。



学年主任から次年度へ向けてのメッセージ



一学年主任
福田 智明 先生

只今「2年生0学期」真っ最中です。1年生の学校生活を振り返りつつ、2年生になるための準備はできているでしょうか。

75回生は波乱の高校生活のスタートでした。新型コロナウイルス感染拡大に伴って学校が休校になり、高総体や諸行事の中止・変更もあって、本来は経験すべき事を経験できず、諸行事における先輩たちの輝いた活動の姿を見る機会も少なく、「真の南高生とは？」という問いの答えも見えぬまま2年生になろうとしているのではないかと…。とても危惧しています。

自分磨き活動も思うようにできずにいますが、SDGs調べ学習から始めた探究活動から自分なりの課題を見つけ、2年生では、『自分が南高で学ぶ価値』というものを常に問いつつ、学習、部活動、学校行事、生徒会活動などに積極的に取り組み、『自分』を磨いていって欲しいと思います。その先に自分がかなえたい目標があります。進路実現に向けて、1年生の振り返りをする時間は今しかありません。2年生になれば学習内容も難しくなり、学校を牽引していく立場になるので、とても忙しくなります。今を、「2年生0学期」を大切に過ごしてください。

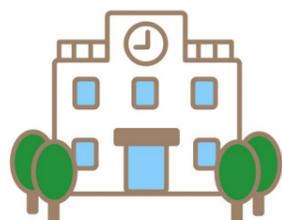


二学年主任
村里 和久 先生

74回生が入学してもうすぐ2年が経ち、最終学年の3年生になろうとしています。いよいよ自分の進路を決定する大事な時期を迎えます。

今年度は新型コロナ感染の影響で、部活動の大会、発表会、様々な校内行事等ができませんでした。授業も自宅学習になったり、分散登校になったりと多くの制限のある中で生活を強いられています。でもだからこそ今できることを精一杯、一生懸命やらなければと思います。

今この時を大事にして先延ばしにせず、こつこつと頑張らなければならない。逆にひとりひとりの人間力を高めるチャンスととらえて色々なことに取り組んでほしい。



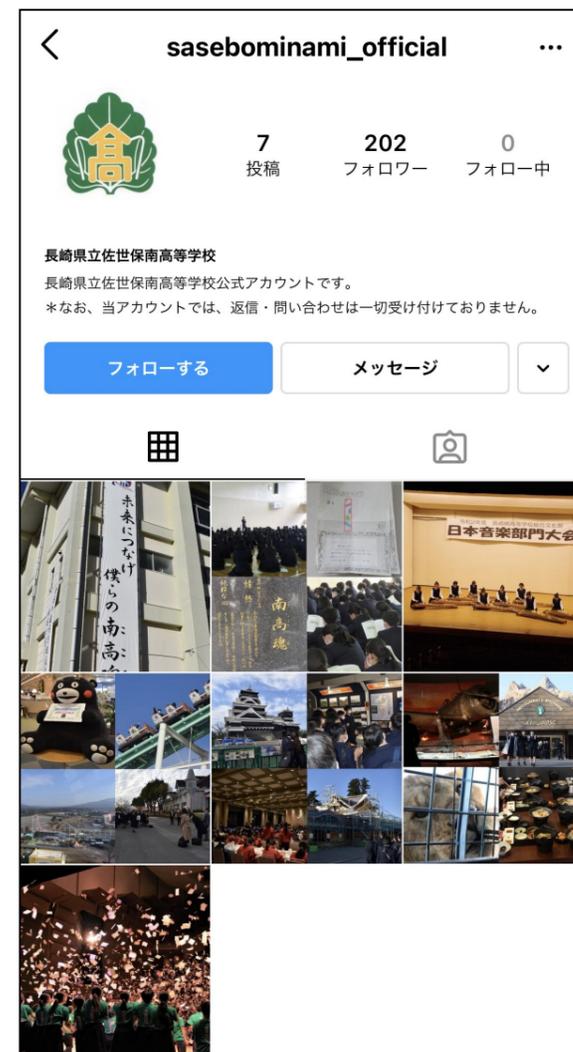
育友会によるゼリー飲料の差し入れ

1月28日(木)に育友会によるゼリー飲料の差し入れがありました。毎年マラソン大会の日にうどんの提供が行われていましたが、今年は新型コロナウイルス感染予防のため見送られました。それでも何か生徒の皆さんのためにできることはないかという育友会の方々の思いから、ゼリー飲料の差し入れという形での実施となりました。保護者の皆様の温かい思いをしっかりと受け止め、日々の学校生活を有意義に過ごしましょう。本当にありがとうございました。



佐南公式インスタグラムアカウント開設

昨年12月、生徒会広報部によって、インスタグラムの佐南公式アカウントが開設されました。今後はインスタグラムを利用し、タイムリーな佐南の情報を生徒たちの声でお届けしていきます。テーマは“佐南のリアル”です。是非チェックしてみてください。



3月行事予定(予定)

- 3月 1日(月) 第73回卒業証書授与式
- 5日(金) 中・後期受験者集会
- 6日(土) スタディサポート(1年) Sプロ(2・3年)
- 9日(火)～10日(水) 後期入学者選抜
- 9日(火)～11日(木) 生徒自宅学習日
- 12日(金) 国公立大学後期試験
- 15日(月) 教室移動(2年)
- 16日(火) 教室移動(1年)
- 18日(木) 消費者教育(1年)
- 23日(火) 校内大会
- 24日(水) 三学期終業式 離任式 大掃除

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため急に変更になる場合がございます。